第46号　平成5年6月15日発行　「こどもの城ニュース」　発行所／こどもの城広報部・東京都渋谷区神宮前5-53-1　電話03(3797)5666

こどもの城ニュース

こどもの数だけ夢がある

平成五年度児童福祉週間標語

ゴールデン・ウィーク期間中、たくさんのお友だちがこどもの城を訪れ、さまざまなプログラムを体験していきました。それぞれの催しのスナップと遊びに来たお友だちの感想と夢をたずねてみました。

屋上ふしぎが丘をいっぱいに使って「キャッスル・ファイト──五龍大武闘大会」。四つの修行の場をクリアし、最後の大会の場へ。

本橋さん

「いっぱい勝って、いっぱいカードもあつめた。とても楽しかった」と話すのはキャッスル・ファイトに挑戦した小三の本橋希望さん。夢はマンガ家になること。

大樹くん

兄弟で遊びに来た稲葉大樹くん（五歳）と航平くん（三歳）。「じゃんけんで負けカードをとられたから楽しくなかった」と航平くん。夢は正義の味方「しろ忍者」になること。

航平くん

「いろいろなゲームをして楽しかった」と話すのは大樹くん。夢は「大工さんになって、お母さんのためにお家を作ること」。

小高くん

何回もチャンピオンになった小高拓也くん（小五）は「優勝できてよかった。つらかったのは途中でカードが減ってしまったこと」。夢は競馬の騎手。

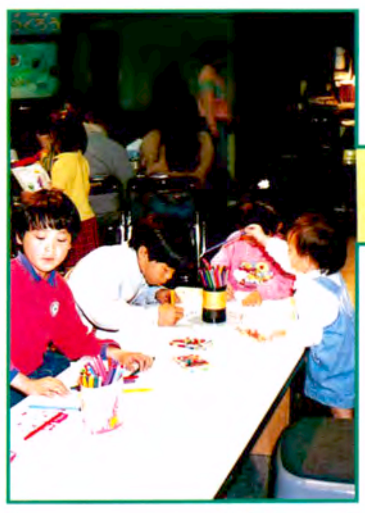
「こいのぼり掲揚式」（厚生省前）には、関脇若ノ花と丹羽厚相が出席。

体育室は「宇宙」がテーマ。AVライブラリーや宇宙開発事業団などの協力を得て、国産ロケットの模型の展示、ビデオ上映会、講演会。宇宙飛行士になるためのトレーニングにも挑戦。

宇宙飛行士になるためのトレーニングに挑戦していた小四の仲良し三人組。沢井千絵さん、佐藤さやかさん、中森あずささん（写真右から）。無重力トレーニングには苦戦したようだけど、「作るのが好きだからおかしやさん」（沢井さん）、「食べるのが好きだからおかしやさん」（中森さん）、「生き物が好きだからペットやさん」（佐藤さん）と夢を話してくれました。

佐久間くん

宇宙酔い体験で「みんなよりスピードをあげて回ったから気持ち悪くなちゃった」という佐久間隆利くんは小三。夢は「戦闘機のパイロット」。



AV実験室「ぱたぱたアニメ」と「くるくるまんが」を作ろうは音楽スタジオBで。たくさんのお友だちが参加。

玉置くん

ぱたぱたアニメに挑戦した玉置峻くん（小二）は「考えたとおりに動いた」と自慢顔。夢は有名人になること。「総理大臣はいやだから、野球の選手」。

古村さん

古村寛子さんの作ったぱらぱらまんがの題名は「ねこ」。猫の顔が大きくなったり、小さくなったりする。「小さい子が好きだから、学校の先生になりたい」。

造形スタジオではオリジナルのこいのぼり作り。頭にかぶる大きな〈こいかぶり〉としゃれた〈メタリックこい〉を作りました。

小山くん

〈こいかぶり〉をお母さんと一緒に作った四歳の小山豊さん。クレヨンで絵を描くのが大好き。夢は「大きい車の運転手」。

兄妹で遊びにきた松岡究輝くん（小三）と瑛理さん（小二）。相撲が大好きな妹は「おすもうさんになりたい」。兄は考えたすえ「パイロット、かなあ」と夢を教えてくれました。

松岡さん

音楽ロビーでは、アフリカ、中国、ブラジルなどいろいろな国の音楽と出会えるコンサート。青山円形劇場でも音楽事業部のお兄さんが大活躍。

ダイさん

ダイ・ファンさん（六歳）は中国のお友だち。手作りガンザは「シャカシャカとってもいい音」と一緒になって音楽を演奏。夢は「白いピアノを弾きたい」。

かねこくん

「お兄さんのスプーンの演奏がおもしろかった」というのは、かねこやすとしくん（小二）。「オリジナルの音楽ゲームを作りたい」という夢を持っています。

パソコンルームは「ことばであそぼう」がテーマ。しりとり、アナグラム、暗号解読などスタッフが作ったプログラムに挑戦しました。

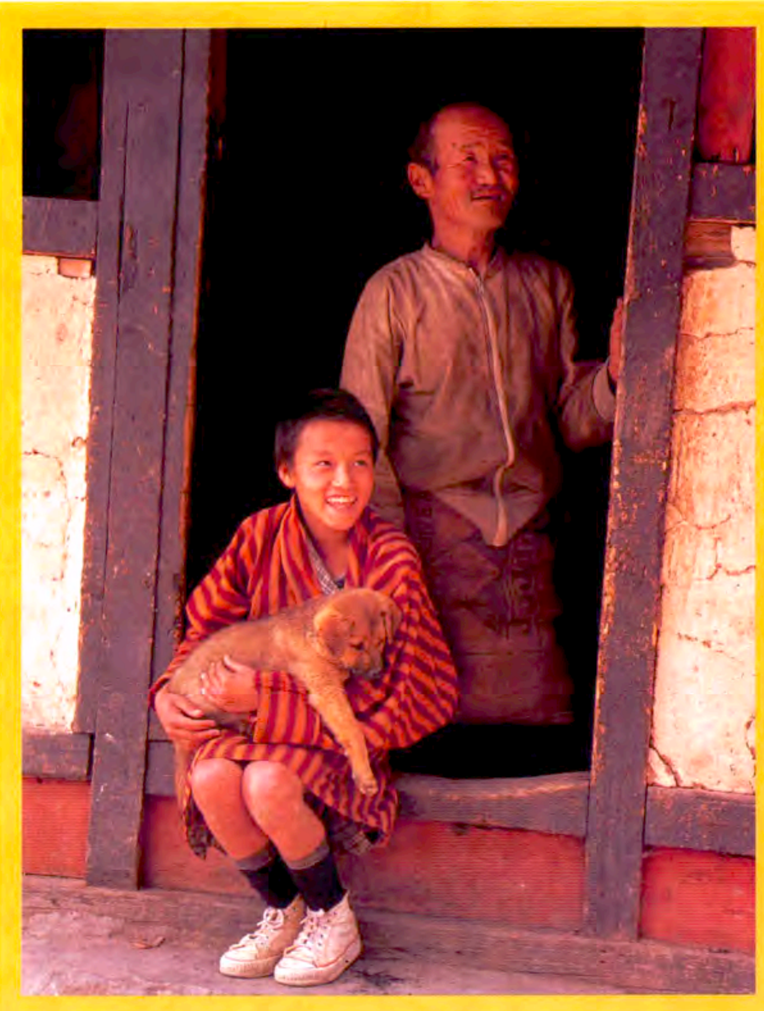
研修室では人形劇フェア。親子で人形作りしたり、人形劇に参加したり。保育室ではボランティアがマックロー人形劇場、子どもたちは大喜び。

本保さん

お母さんと一緒に作った人形は「左右の手の長さがちがっちゃった」という本保美香さん。夢は「赤いバラが好きだからお花屋さん」。人形劇フェアの会場で。

世界の子供たち⑦

平早 勉



小学生の男の子は小犬と一緒に日なたぼっこ。ブータンの小学校で。

愛情品質

'93 ファミリア夏のバージョン

おはなしプリントファミちゃんシャツ

綿100%、プリントのあるふつうのTシャツ。
でも、まえとうしろの絵が たのしいおはなしになっています。
お母さまとお子さまとごいっしょに あたらしいおはなしをつくってください。
この夏がすてきな思い出になりますように……
ファミリアはそんなお母さんの愛情を応援します。

Fashions for Babies and Children
FAMILIAR

（株）ファミリアの本社と本店は神戸にあります　北海道から沖縄まで全国に約200の支店と百貨店コーナー　ハワイとサンフランシスコにもお店があります
フリーダイヤル 0120-078-345神戸本社 お客様相談室

遊びと造形発想展

たしざん・かけざん

見て、触って、参加して

六月二十七日まで　アトリウム・ギャラリー

第六回遊びと造形発想展が六月二十七日まで、こどもの城ギャラリーで開かれています。長年デザイン教育に携わってきた、筑波大学名誉教授の高山正喜久さんの活動に賛同する「遊びと造形発想の会」とこどもの城造形事業部が共催するもので、今回は昨年に引き続いて「造形の四則計算」がテーマ。なかでも「たしざん」と「かけざん」に焦点を当てて展示とワークショップを行っています。

遊びと造形発想展は、一九八八年の第一回展から第四回展までは〈高山正喜久…造形基礎教育三十年の報告…幼児からデザイナーまで〉という副題で行われてきました。造形の基礎とは何か、を探求してきた高山さんの、遊び心に満ちたユニークな実践活動の歩みが一目で分かるように展示され、幼児とその親から、教育者、造形作家、デザイナーまで、幅広い関心を集めました。

前回から「遊びと造形発想の会」のメンバーが、それぞれの場で実践しているプログラムやカリキュラムの中から児童・生徒・学生の作品を選んで展示を行っています。

今回は、造形の「たしざん・かけざん」のテーマに基づいた作品を選んで展示。ものの見方・考え方コーナーや体験コーナーも設けています。体験コーナーでは、江戸時代から伝わる影絵の実験、寄り目工作（やさしい立体視画作り）などが体験できます。

また、ものの見方・考え方コーナーでは、伝統的な遊具の展示のほか、展示されている作品がどのような発想のもとに作られたのかを説明するパネルが設けられ、遊び心が産み出す造形発想の広がりを体系づける試みを行っています。

例えば、紙で何かを作る時、一枚では足りないと思ったら、二枚三枚と増やしたり、つないだりします。「たしざん」をするわけです。何枚もくっつけて固まりにしようとすると、「たしざん」ではめんどうなので「かけざん」をします。ものの見方、考え方の広がり——つまり発想を広げるために「四則計算」の考え方を借りて造形を考えていこうというものです。

会場には「たしざん・かけざん」のテーマにそったワークショップのコーナーも設けられています。展示されている作品は、ただ見るだけでなく、触って楽しむものもあります。簡単な工夫のようですが、その工夫を思いつくことが大切で、それがまさに「造形発想」なのです。

入場料は無料（こども活動エリアに入場する場合は入館券が必要）。月曜日は休館。開催時間はこどもの城の開館時間中（最終日は四時三十分まで）。

▲昨年もたくさんの人が訪れた「遊びと造形発想展」。

〈発想〉は だれにでもある

高山名誉教授の話

〈発想〉は特殊な人のものと思われているが、だれにでもあるものだと思う。子どもの中には〈発想〉の芽が十分にあるはず。へたに教育されていない子どもたちを見ていると、大人が思いつかない勝手なことをやる。これを見直す必要があるのではないか。自分なりに〈発想〉を考えよう。

知識や技術は〈発想〉を実現するための道具。今はこの考え方が逆になってしまっている。元になるのは人間の〈発想〉だ。教育の原点として考え直す時期にきているのでは？

〈つくる〉ことばかりでなく〈こわす〉ことの中にも造形はある。小さい子どもにとっては、あるものが変化することが造形。大人から見ると壊したり、汚したりといういたずらに見えることの中に造形がある。大きくなると作り出す変化—造形へと変わっていく。自由と同時にしつけが大切だが、これをうまく導いてあげることが必要ではなかろうか。

この展示を通して、〈発想〉というものを具体的にみてほしい。そして「おもしろい」とまず思ってもらえれば、と思う。

ホラッ！こんなにとれたよ

こどもの城友の会のファミリーハイクは、木更津・中の島公園でのしおひがり。天気にもめぐまれて、人もアサリもいっぱいでした。

みんなで「手をつなごう」

「ファミリー・ランドの宝物」（協賛・ファミリア、協力・クレオラほか）にこどもの城パフォーミング・アーツの子どもたちが出演。

波瀬満子の ことばだいすき

“ことばだいすき”のはせみつこです。えっどうしてことばがすきかって？

“おんがくだいすき”とか“まんがだいすき”とか“ステーキだいすき”ならわかるけど、ことばがすきってわかんないなぁーって。それってきっとべんきょうのしすぎよ。

もともとことばってとてもおもしろいのよ。ことばをならべたり、きったり、はったり、つなげたり、いれかえたりすると、おもいもかけない、あたらしいことばにうまれかわったりするからなの。

それからことばをこえにだしたり、からだをうごかしたり、うたったり、おどったりしてあそんじゃっておもしろいわよ。

このコーナーでは、ことばあそびのあそびかたをしょうかいしていきます。いっしょにあそんで、そのうちことばだいすきになってね。

アクロスティック

いっかいめはアクロスティックということばあそび。いきなりムズカシイえいごがでてきたけど、えいわじてんをひくと《acrostic》つまり「各行の初め（初めと終わり）の文字を順につなぐと一定の語句になる」これじゃますますわからないわね。

まずうえからしたへか、よこいちれつに、ことばをならべて、ひとつずつのおとからことばをだしていけばいいわけ。《ことばだいすき》と《こどものしろ》でつくってみましたからこれをさんこうにしてみて。

もとのことばはじぶんのなまえでも、おとうさんのなまえでもいいし、すきなことばでいいわよ。じゃあね、またね。

ことばはつなぐ
とおくとちかく
ばらとみつばち
だれかとだれか
いまとむかし
すきときらい
きみとわたし

こんにちは
どこからきたの？
もしよかったら
のびのび　すきなこと
していって！　お**も**し
ろいよ！

波瀬満子（はせみつこ）さん＝パフォーミング・アーチスト。1977年に谷川俊太郎さんたちと「ことばあそびの会」を設立。詩やことばあそびをステージ構成したパフォーマンスで、日本語を声と肉体で表現するジャンルを確立。1982年初演の『波瀬満子のやってきたアラマ先生』は現在も全国ロングラン上演中。1993年4月からNHK教育テレビの『あいうえお』に《謎のオコソトノ》としてレギュラー出演中。

7月21〜24日、こどもの城青山円形劇場で『波瀬満子のやってきたアラマ先生』を上演。

（楽しいアクロスティックができたら、『こどもの城ニュース』の編集部まで送ってね。）

カナダのアニメを定期上映

アカデミー賞受賞作品など

〈こどもの城映画劇場〉では、武藤行雄記念文庫に収められているカナダの短編アニメーションを日曜・祝日に毎月一回の割合で上映しています。場所は四階音楽スタジオB。

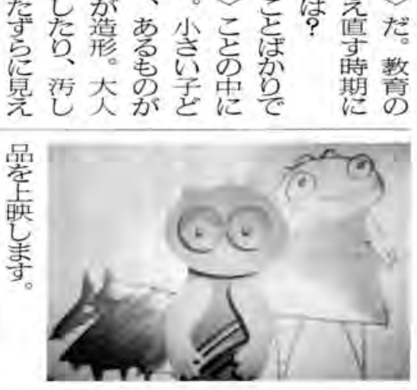
カナダのアニメーションは世界各地の映画祭で数々の賞を受賞するなど、高い評価を得ています。日本では目にする機会が少なく、一部のアニメ通や映画通の間でしか知られていませんが、多彩な技法を用いた優れた作品の宝庫です。

六月二十七日は、ユニセフの子どもの権利宣言を受けて作られ、アカデミー賞も獲得している『エブリ・チャイルド』、『四重奏』、『シュッシュ』の三作品。

七月十八日は、カナダのアニメーションの生みの親であり育ての親でもあるノーマン・マクラレンの『開会の辞』、『スーフィーテール』、『箱』**（写真）**の三作品を上映します。

いずれも上映時間は約三十分です。「外国の映画ということで〈言葉〉を心配する人が多いと思いますが武藤行雄記念文庫の作品のほとんどは〈言葉〉が付いていません。セリフやナレーションがないのです。画面の中のキャラクターの表情や動き、音楽などの音声だけで理解できるように作られているのです」とAV事業部の昼間行雄さん。

「すばらしいカナダ・アニメーションの世界をぜひ見てほしい」と話す。



ウェルカム ベビー キャンペーン

「子どもたち」が健やかに生まれ、育つことができる環境をめざして

厚生省をはじめとする幅広い組織・団体が協力して〈ウェルカム・ベビー・キャンペーン〉が展開されています。

「高齢者社会」「長寿社会」という言葉に加えて、新たに登場したのが、子どもや若者が少ない「少子社会」。子どもを持つかどうかは個人・夫婦の問題ですが、子どもを持ちたいと思っていても、子育ての環境への不安を感じている人たちも少なくありません。

平成六年の「国際家族年」まで、さまざまな活動を通して「すべての赤ちゃんや子どもたちが、健やかに生まれ育つことができ、すべての親が、子育てを通じて幸福を感じられる社会だったら……」という願いをこめたキャンペーンが行われています。

赤ちゃんの歌『ほんとだよ』**（写真左）**の募集・発売にはじまり、このほどキャンペーン・ソング『僕らが生まれた あの日のように』**（写真右）**が誕生しました。作詞・作曲は飛鳥涼、小田和正。演奏に参加したのは、作詞・作曲の二人のほか、カールスモーキー石井、玉置浩二、徳永英明、浜田麻里、山本潤子というビッグ・アーチスト七人。CDの売上は「子どもの環境づくり」を目的としたさまざまな活動に役立てられます。

僕らが生まれた あの日のように
USED TO BE A CHILD

家族をみなおす保育セミナー

8月9・10日にこどもの城で

「ぐるみ子育て論 パートⅢ——家族をみなおす」をテーマに、第七回保育セミナーが八月九、十日の二日間にわたってこどもの城で開催されます。

保育セミナーでは、保育にかかわるさまざまな施設や人、地域などが一体となって子育てを考えていこうと、過去二回にわたって〈ぐるみ子育て論〉を考えてきました。保育所、児童館、小児科医など子どもを取り巻く施設のネットワークをどのように考えたらよいのか、から始まり、地域ぐるみで子育ての環境をどのようにつくっていくか、などが話し合われました。

今回は、女性の就労が一般的になるなど、家族・家庭のあり方が変化してきている現状を考えて、家族をみなおすことをテーマにセミナーを開きます。家族が必要としている援助とは、企業と家族のつながり、地域社会と家族のかかわりの三点を中心にシンポジウムと分科会を開きます。

九日は基調講演「家族について考える」（山崎美貴子明治学院大学教授）とシンポジウム「社会が家族の子育てを支援するために」（シンポジスト＝巷野悟郎こどもの城小児保健部長、西嶋美那子IBM人材管理イコール・オポチュニティ推進担当課長、長尾立子元厚生省社会局長ほか）。

十日は「地域の中で保育所は家庭に対して何ができるか」「親の気持ちを理解するために」「企業は家族をどう支えるか」など五つの分科会に分かれて話し合う予定。定員は百五十人。参加費は一万三千円。詳細はこどもの城保育研究開発部まで。☎〇三（三七九七）五六六九。

「お子様をお持ちの方も参加できるように、セミナー当日託児の用意があります。対象は一歳以上就学前までのお子さん。一日二千五百円。ご希望の方は参加申込の際に、事前にお問い合わせください」と保育研究開発部。

プレイホールの新しい遊具

「わくわくらんど」に決定

10人のお友だちが名付け親に

▲「わくわくらんど」はプレイホールの人気者。

プレイホールにこの春新設された大型の遊具（スウェーデン・ハグス社製）の愛称が「わくわくらんど」に決まりました。

春休み期間中に愛称を公募したところ、三〜四歳ぐらいのお友だち（のお母さん？）から、おとなまで千通を超える応募がありました。その中からプレイ事業部のスタッフが中心となって選考した結果、十人のお友だちが考えてくれた「わくわくらんど」に決定しました。

「タイヤの井戸、ネット・ブリッジ、チューブ・スライドなど変化に富んだ冒険遊びができる遊具。こどもの城のプレイホールに合わせて設計されたものです。小さいお友だちは、お父さんお母さんと一緒に遊ぶといろいろな冒険ができて楽しいよ」とプレイ事業部長の小川能男さん。〈名付け親〉のお友だちには記念品が贈られました。

〈名付け親〉のお友だちは以下の方々です。

内田千春（板橋区・五歳）きくおきしゅん（藤沢市・八歳）小坂彰子（調布市・小一）坂本まり（目黒区・八歳）白岩愛子（北区・九歳）武内みさき（多摩市・八歳）とうどうたかなお（港区・九歳）巴川陽介（渋谷区・五歳）平林あすか（宝塚市・八歳）若月千佳（川口市・八歳）

造形スタジオの活動は一か月交代!?

岐阜の今井さんからおたよりとスナップ

こどもの城のみな様へと岐阜県多治見市の今井淑恵さんから、かわいらしいお便りが届きました。

「五月の連休の時は、お世話になりました。プレイホールがかわって、とてもうれしいです。妹は、紙で作るこいのぼりをねっちゅうしてやっていました。とくに色ぬりを！」と、スナップ**（写真右）**を同封してくれました。

「ひとつしつもんしたいことがあるけど、ぞうけいスタジオの作るのは、一か月こうたいに、いろいろちがうのをやっているんですか？ おしえてください」ということなので、造形事業部のお兄さんに聞いてみました。

「四月から八月は、素材との出会い展や造形発見展など、九月から三月はオープン・スタジオと大きく二つのプログラムに分かれています。それぞれのテーマのなかで、工夫をこらしたプログラムを二週間から三週間ごとに変えて行っています。

また、お正月や節分、こどもの日などには、季節の行事にちなんだ《こども歳時記》を行っています」と指導員の有福一昭さん。

こどもの城の夏休み集中講座募集中

こどもの城では、夏休み集中講座の受講生を募集しています。詳細は、1階アトリウム総合受付(☎03-3797-5666)または各事業部へお問い合わせください。

体　育

☆こども集中水泳講習会

能力に応じたコースに別れて、正しい泳ぎ方を身につける5日間の集中講習会です。

Aコース	7月21日〜25日（9：30〜10：30）
Bコース	7月21日〜25日（10：30〜11：30）
Cコース	7月31日〜8月4日（9：30〜10：30）
Dコース	7月31日〜8月4日（10：30〜11：30）
Eコース	8月24日〜28日（9：30〜10：30）
Fコース	8月24日〜28日（10：30〜11：30）

【対象・定員】
A・C・Eコース　小・中学生 50人
B・D・Fコース　幼児（4・5歳）40人
※幼児は平成5年4月1日現在の年齢
【料金】各コースとも7,000円

☆ガンバ'93（体操教室）

体操が得意でないという子どもたちの体操教室。集中的な練習で、とぶ、走る、ころがるなどの基本動作を楽しく体験します。

【対象・定員】小1〜3年生　30人
【日時】8月24日〜28日　9：30〜10：30
【料金】6,000円（5日間）

【申込方法】体育の2講座は、6月17日午前10時からアトリウム総合受付で先着順で受け付けます。

造　形

☆夏休み造形教室 土と造形　Part-2

「土」という身近な素材を使って、じっくりと時間をかけて、子どもたち自身で考え、工夫しながら制作に取り組むワークショップです。

【対象・定員】小3〜高3　各コース10人
【日時】7月28日〜8月22日の火〜金曜日 13：00〜17：00
【料金】3,000〜6,000円（予定）
※日程・料金・プログラム内容の詳細は6月下旬に造形スタジオに掲示します。受付開始は7月上旬の予定。詳細は造形スタジオ（03-3797-5662）へお問い合わせください。

小児保健

☆夏休み健康教室集中講座 幼児太りすぎクラス

保護者向けには医学・栄養・運動についてのレクチャー、子どもたちには楽しく体を動かすプログラムを行います。

【対象・定員】4・5歳児の親子　20組
【日時】8月24日〜26日　14：30〜16：30
【料金】10,000円（3日間）

☆こども一日ドック

子どものための総合健康診断。医師による診察・各種検査、体力テスト、食生活のチェック、心理検査などを行います。

【対象・定員】小・中学生　20人
【日時】7月22日・23日　12：30〜17：00
【料金】8,000円（1日）

【申込方法】小児保健部（03-3797-5667）へ。

青山劇場 インフォメーション 青山円形劇場

青山劇場

●ミュージカル『阿国OKUNI』▽6月11日㈮〜27日㈰▽平日・土曜6時半、日曜2時、23日貸切▽S9000円／A7000円▽出演＝木の実ナナ／上条恒彦／池畑慎之介 他▽演奏＝上々颱風▽かぶきの元祖、出雲の阿国の恋と人生を描く時代劇ミュージカル。

●'93曙会公演『妖』『戸隠』▽6月29日㈫▽6時半▽A8000円／B3000円▽出演＝花柳寿美／花ノ本寿／花柳豊三朗 他▽舞踊で描く女の本性と魔性、幻想と幽玄の美。

●山本禮子バレエ団『バレエ・コンサート』▽7月1日㈭▽6時半▽S6000円／A5000円／B4000円▽出演＝パブロ・サヴォイ／オリビエ・ウエバー／堀内充 他▽世界の舞台で活躍中の中村かおりも出演。

●少年隊ミュージカル『プレゾンⅧ』▽7月8日㈭〜8月1日㈰▽平日6時15分、土曜2時・6時15分、日曜1時・5時、月曜休演、（27日〜30日2時あり、1日は1時のみ）▽全席10000円▽出演＝錦織一清／東山紀之／植草克秀 他

青山円形劇場

●北村真実ダンススペース『GAME〜迷宮の扉』▽6月15日㈫〜16日㈬▽15日7時、16日3時・7時▽前売3500円／当日3800円▽出演＝北村真実／浅見由紀／山田仁美 他

●劇団そとばこまち『ビデオマン』▽6月19日㈯〜27日㈰▽土曜・平日7時半、日曜2時、（26日3時あり）▽前売3300円／当日3500円▽出演＝生瀬勝久／北川肇／藤原考一 他▽大阪で人気の小劇団、待望の東京公演。

●オペラクリエーション・イン・青山『父の日コンサート2・教科書で遊びまSHOWか』▽6月28日㈪〜30日㈬▽6時半▽2500円▽出演＝吉村温子／近藤均 他▽学校の科目にちなんだ歌でつづるゆかいな教室風景。

●ダンス・ショウケースVol・1『だんすにGONE』▽7月2日㈮〜4日㈰▽2日7時、3日3時・7時、4日2時・6時▽4500円▽振付＝後藤早知子／前田清実／上田遥／中島伸欣▽4人の振付家による4つの新しいダンス風景。

●劇団21世紀FOX『私の青空』▽7月6日㈫〜11日㈰▽平日7時、土曜2時・7時、日曜1時・6時▽3000円、（中高生2800円、劇団のみ取扱）▽演出＝肝付兼太▽出演＝高橋響子／河本浩之 他▽劇作家、北村想の初期の代表作を上演。

●劇団冒険物語『美しき野獣たちの伝説』▽7月14日㈬〜18日㈰▽平日7時、土曜3時・7時、日曜1時・5時▽3500円／ペア6500円▽作・演出＝うちやまきようつぐ▽出演＝藤原美佐穂 他

■ご予約は、青山劇場予約センター03（3797）1400まで

所在地	〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1
電話	03-3797-5666
開館時間	平日 午後12時30分〜午後5時30分（入館は5時まで） （学校の季節休み、土・日・祝祭日は午前10時から開館いたします。）
休館日	月曜日（月曜日が祝祭日の場合は火曜日、また学校の季節休み中は変則になります）
入館料	3歳以上18歳未満／300円 おとな／400円

こどもの城ご案内

🚉交通　渋谷駅（東急文化会館口）・地下鉄表参道駅（B2出口）からそれぞれ徒歩7〜10分。

レストラン、軽食、喫茶店、ホテル、研修（会議）室、売店、ギャラリー、駐車場（70台収容）併設

青山劇場・青山円形劇場／電話 03-3797-5678